

⑤土木基本・実施設計業務委託特記仕様書

業 務 名：北山文化圏センター 土木設計業務

業務場所：今帰仁村仲宗根・玉城地内

履行期間：契約締結日 ～ 令和7年3月31日

業務概要：本業務は、北山文化圏センター整備に関わる下記業務を行うものである。

土木基本・実施設計業務 1式

第1章 総 則

第1条 適用の範囲

本特記仕様書は、「北山文化圏センター整備土木基本・実施設計業務」に適用する。

第2条 共通仕様書の適用

本業務の履行にあたっては、本仕様書に定めるもののほか、沖縄県土木建築部制定の「設計業務等共通仕様書（令和5年7月）」に基づき実施しなければならない。

第3条 書類の提出

受託者は、業務の着手時及び契約後に下記の書類を提出するものとする。

- ①着手届、②工程表、③主任技術者届、④経歴書、⑤業務完了届、⑥納品書、
- ⑦その他（委託者が指示するもの）、なお、承認された事項を変更する場合は、その都度委託者の承認を受けなければならない。

第4条 履行報告

委託者は、受託者に業務の進捗状況について、説明、報告をもとめることができる。

第5条 関係官公庁への手続き等

受託者は、業務を遂行する上で、委託者が行う関係官公庁等への手続きの際に協力すること。また、受託者は、設計業務等を実施するため、関係官公庁等に対する諸手続きが必要な場合には、速やかに行うこと。

第6条 地元関係者との交渉等

地元関係者への説明、交渉等は委託者または調査職員が行うものとするが、調査職員の指示がある場合は、受託者はこれに協力するものとする。また、地元関係者からの質問、疑義に関する説明等を求められた場合は、調査職員の承諾を得て行うものとする。

第7条 受託者の賠償責任

受託者は、受託者の責に帰すべき損害、瑕疵責任に係る損害とされた場合には、損害の賠

償を行わなければならない。また、委託者並びに第三者に瑕疵がなく、本業務に係わる作業中に生じた諸事故並びに第三者に与えた損害に対しては、受託者はその責任を負い、一切の処置・対処を行うものとする。

第8条 守秘義務

受託者は、業務の実施過程で知り得た秘密を第三者に漏らしてはならない。但し、受託者の成果物の発表に際しての守秘義務については、承諾を受けた場合にはこの限りではない。

第9条 安全等の確保

受託者は、屋外で行う業務等の実施に際しては、業務担当技術者だけでなく、付近住民、通行者等の第三者の安全確保に努めなければならない。なお、事故が発生した場合は、被害の拡大を防ぎ、支障除去を行うため、臨機の処置をとり、直ちに委託者へ報告するとともに、委託者からの指示に従わなければならない。

第10条 打合せ協議

- 1 打合せ協議は、業務着手時、中間打合せ時（3回）、成果物納入時の5回を基本とし、必要があれば適宜行うものとする。時期等については、委託者と調整するものとする。また、整備検討会へは3回参加するものとする。
- 2 設計業務等を適正かつ円滑に実施するため、主任技術者と調査職員は常に密接な連絡をとり、業務の方針及び条件等の疑義を正すものとし、その内容についてはその都度、受託者が書面（打合せ記録簿）に記録し、相互に確認しなければならない。

第2章 業務の内容

第11条 業務の目的

令和4年度に策定された（仮称）北山文化圏センター整備基本計画策定により、今帰仁村中央公民館、コミュニティセンター、保健センター、今帰仁の駅そーれ及びその周辺地域の土地利用および施設活用の方角性が示された。

本委託は、今帰仁村が進める『公民連携による「北山文化圏センター」整備推進事業』において設置されているデザイン委員会及びプロジェクトチームの整備方針を基に、建物周辺の駐車場整備や水路の整備、活用や景観、隣地に配慮した環境整備に資する基本・実施設計を行うものとする。

第12条 業務内容

対象面積 約 22,000 m²

土木基本・実施設計を行うにあたり、下記内容を行うこと。

（1）既存建物と周辺の現況把握と課題の整理

既存の調査結果及び建物とその周辺の現地調査を基に北山文化圏センター整備に向けた課題を整理する。

(2) 利活用に向けた整備検討

現況把握・課題整理の内容を再確認しながら、以下の北山文化圏センターの利活用に向けた整備内容を検討する。

- ・国道、県道からのアプローチ及び周辺施設（駐車場等）の整備
- ・サイン解説板等の配置検討
- ・既存建築物へ配慮した整備
- ・その他（整備検討会等からの要望等）

(3) 実施設計の検討 1 式

1) 敷地造成設計の検討

- ①敷地造成計画高の検討
- ②断面図の作成、土量計算
- ③擁壁構造、法面、構造物の検討
- ④構造計算、安定計算(必要な場合)

2) 雨水~~＝~~排水施設設計の検討

- ①雨水排水施設の配置計画の検討
- ②雨水排水施設の規模及び構造の検討
- ③雨水排水計算及び排水施設の構造計算(必要な場合)

3) 緑地設計の検討

- ①既存樹木の調査及び撤去樹木の整理
- ②緑地の配置及び樹種等の検討
- ③親水護岸及びビオトープ等の検討

(4) 施工計画の検討

関連施設整備と、現場の条件や工種ごとの内容、施工順序などを勘案し、施工計画を検討する。

(5) 仕様書の作成

工事発注仕様書の作成

(6) 実施設計図の作成

関連施設整備及び利活用に向けた検討について実施設計図を作成する。

- ①平面図(造成、撤去、舗装、植栽、雨水、屋外照明、給水等)
- ②縦横断図(造成、園路)
- ③詳細図

(7) 数量計算及び工事費の算出

設計図面にもとづき、数量計算を行い、工事費を算出して、設計書に取りまとめる。

(8) 設計説明書の作成

上記の一連の検討過程を設計説明書にまとめる。

第 13 条 今帰仁村が進める『公民連携による「北山文化圏センター」整備推進事業』において設置されているデザイン委員会及びプロジェクトチームの意見聴取を行い、設計に反映する。

第 14 条 成果品

1 成果品の内容及び部数

成果品は、以下の通りとする。なお、成果品については、1 式まとめてケースに入れて納品すること。

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| (1) 設計図面 | 1 式 (A3 観音製本×2 部) |
| (2) 設計説明書 | 2 部 (A4 版 ドッチファイル綴り) |
| (3) 設計書 | 2 部 (A4 版 ドッチファイル綴り) |
| (4) 各種データ | 2 部 (CD-R) |
| (5) その他 (調査職員が指示するもの) | |
| (6) 測量成果簿 | 2 部 (A4 版 ドッチファイル綴り) |

2 その他

成果品については、調査職員の許可を受けないで他に公表、貸与してはならない。また、引き渡し終了後、報告書に疑義が生じた場合、受託者は調査職員の要請に応じて修正しなければならない。

第 15 条 業務上の疑義

本特記仕様書に定めのない事項及びその他仕様書等に疑義が生じた場合は、調査職員と協議し決定するものとする。

数 量 調 書

業 務 名：北山文化圏センター整備土木基本・実施設計業務

業務場所：今帰仁村 仲宗根・玉城 地内

1 設計業務

- | | |
|----------------------------------|-------|
| (1) 実施設計 | 1 式 |
| 1) 既存建物と周辺の現況把握と課題の整理 | |
| 2) 利活用に向けた整備検討 | |
| 3) 実施設計の検討 | |
| 4) 施工計画の検討 | |
| 5) 実施設計図の作成 | |
| 6) 数量計算及び工事費の算出 | |
| 7) 設計説明書の作成 | |
| (2) デザイン委員会等との意見交換 | 2 回程度 |
| (3) 打ち合わせ協議 業務着手・中間打合せ（3回）・成果物納入 | 5 回程度 |